



藤沢記者クラブ各位

事業者と職員の働き方改革を DXで推進します

自治体初！施工管理ツール「ANDPAD」を公共建築工事に本格導入

藤沢市では、事業者及び職員の働き方改革を推進するため、全国の自治体として初めて「株式会社アンドパッド」と、施工管理ツール（クラウド型建設プロジェクト管理サービス）「ANDPAD」の使用契約を行い、藤沢市発注の建築工事における施工管理へ活用を開始いたしました。

今後も、「ANDPAD」を活用した働き方改革を進めるとともに、「事業者、職員ともに働きやすいまち」を目指し、DXの推進を図ってまいります。

【契約日】

2025年（令和7年）4月1日

【導入経過】

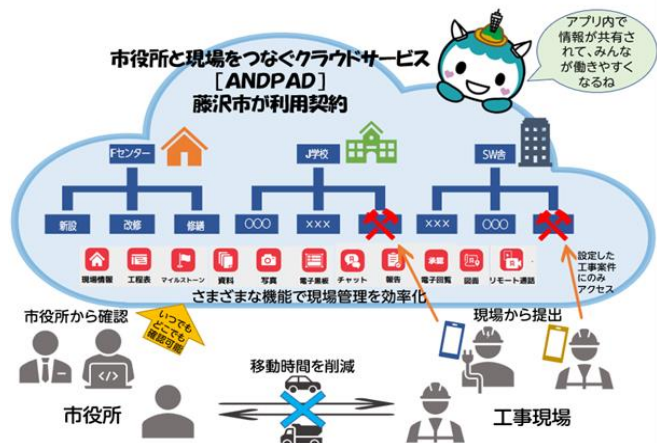
藤沢市は工事の発注者として、現場までの移動時間など、間接的な業務に多くの時間を要してしまふことを課題としてとらえておりました。

このような課題を解消する対策の一つとして行った、施工管理ツール導入の実証実験により、事業者及び職員の働き方の改善が見込まれることが確認できました。

この結果を踏まえ、令和7年度の工事から「ANDPAD」の本格導入を始めたものです。

【導入効果】

- 通信機能を使った遠隔臨場機能により、工事現場に行く回数を減らせるため、移動にかかっていた時間を有効に活用できるようになります。
- 施工管理に必要な書類や情報をツール内に保存できる機能では、一元管理されたデータにより、事業者及び職員間で情報共有が即時で可能となり、工事施工全体の効率化が実現できます。
- 登録された情報は工事が完了した後もツール内で継続的に保管されます。今後は、ツールを利用することで、建物の工事や修繕の履歴を、長期にわたり維持管理などへ活用が可能になるだけでなく、膨大な図面等の書類においても削減を図ることができます。



（裏面につづく）

現場での調査の様子（現場で写真撮影、その場で図面に状況を記入）



工事検査の状況
（図面を確認）



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

【この資料に関する問い合わせ先】
藤沢市役所 計画建築部 建設総務課
内 線：6401
担 当：平本・山本
直 通：0466(50)8230